

不登校児童生徒数の状況から

直近の統計によると、学校に行けない小中学校の児童生徒数は全国的に微増の傾向にあります。

当シャイニングクラスは、現在6名の通級生（小2人、中4人）を受け入れて、主に市民プラザの一室を教室にして運営しています。一人ひとりのニーズ（抱える課題）をくみ取り、学校・保護者と連携して自主自立の姿を見据えて支援をしています。

このような考え・視点で

- ① 児童生徒が自己肯定感を高めて、将来の社会的自立へ向けて生活を自分でコントロールできるようにすること。
- ② 学業の停滞を長期化させないこと（進路選択上の不利や社会的自立へのリスクにならないように）。

このような支援をしています

- ① 学校復帰できるための生活習慣改善や基礎学力の補充。
- ② 他とかかわる積極的態度の育成。（含体験活動の実施／月2回程度）



※28年9月の文科省の通知を受けて、改めて自己点検をしたところです。

スマホ情報の拡散は止められない／青少年とメディアの問題を考えます…その③

最上管内でも中高生が関係する「SNS情報の拡散」が現実の問題として発生しています。いちどスマホのSNS情報網で情報を送れば、どんな内容（含画像）も送信者の意図（相手意識）を超えてあっという間に拡散することがあり得ます。

言い換えると、子どもたち（小中高生）が情報発信するときは「友だちに発信したい」という意識で、「公開の場」に書いてしまっているのです。公開の場には友だちでない人もたくさんいるという想像力がうまく働かないのです。

その結果、学校の範囲を越えたいじめや中傷などの問題行動に発展しているのです。

保護者も含めて、スマホによって情報が広がる仕組みを理解して対応することが緊急の課題です。



シリーズ 家庭教育ノート ～小・中学生の保護者向け～

現行の「文科省家庭教育手帳」より補遺（平15県版6箇章は連載済）

補遺 全3章の 3 **思春期**

- 心も身体も大人ではないけれど、全くの子どもでもない
身体の成長に心の成長が追いつかず不安定な気分により…少し距離を置いた見守りが大切。
- 言うことを聞かないのは、子どもの自立が始まった証拠
…まず、言い分を受け止めてあげる。
- 友達の影響を受けやすい時期
仲間や友達の存在が家族以上と感じることもあり、その影響は大きい。根ほり葉ほり話を聞き出そうとするより、普段からの会話を通じて関係を理解するように努めたい。



体験活動「タケノコご飯をつくろう」（調理実習）

2/9(木) 市民プラザ
 調理実習 「炊き込みごはん」「煮物」「三色なます」
 参加者 3名参加（病欠2名）
 ねらい 仲間や相談員とのかかわりの中で、楽しみながら活動し生活技能を積み上げる。



炊き込みの具を仕込みます



なますの材料を千切りに



千切りが無事終了、味付けに

目標どおりに楽しく調理活動を進めることができました。ダイコンとニンジン千切りは初めての体験だったようです。包丁の細かな操作に苦戦しましたが、何とか無事に切り終えました。ダイナミックな千切りの仕上がりでしたが、初めてにしては上出来です。

時間がなくテーブルを囲んでの会食はできませんでしたが、工程の区切りに、調理台を利用した「試食」で確かめました。

自分たちの作品の出来ばえに、表情を緩めて納得していました。

悩みを分かち手をつなぐ親の会 / 「気楽に話し合う会」

2月17日(金) 19:00~わくわく新庄にて開催(保護者2名と相談員3名)。

お子さんの状況はそれぞれ違っていても、悩みや経験を話し聞き合う中で親御さんが心を癒し、次に向かう元気を得る機会になっているようです。悩まれながらお子さんと共に歩んでいることなどを何気なく話される中に、親子のあり方や子育てに広く生かしたいエキスが、毎回たくさん見つかります。

「(次は、)わたしも『先輩母親』の立場で、悩んでいらっしゃるお母さんたちの心を支えるお手伝いをさせていただきます。」

これは、解散時にある母親が述べられたことばです。

**誰にも話せずに悩んでいる親御さんがおられましたら参加をお勧めします。
 ぜひ、ご連絡をお寄せください。(次回の開催は4月です。)**

2~3月の活動

シャイニングクラス在籍 6名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語
- 水曜日 社会、英語
- 木曜日 体験活動(月2回)
- 金曜日 数学、体育

- ◇体験活動⑩ 2月 9日(木) 調理実習Ⅱ
- ◇気楽に話し合う会 2/17(金) 19:00 わくわく新庄
- ◇体験活動⑪ 2月 23日(木) 修了の会計画作り
- ◇体験活動⑫ 3月 3日(金) 修了の会準備
- ◇体験活動⑬ 3月 6日(月) 修了の会

教育相談連絡先

○ダイヤルなんでも相談
 TEL 23-7266

○適応指導教室(シャイニング)
 TEL 22-2111
 (内線 445、448)

林、小野、荒木が担当です。